

一. 法人の概要

(1) 設立等	認可年月日 平成元年7月4日	(2) 法人運営	理事 定数 8名
	登記年月日 平成元年7月14日		監事 定数 2名
			評議員 定数 17名

(3) 経営事業

事業の種別	名称	定員	事業開始
1種 障害者支援施設(施設入所支援・生活介護)	シャイン	50名	平成22年10月1日
2種 障害福祉サービス事業(短期入所)		2名	平成5年4月1日
2種 介護老人保健施設	ハイム・ゾンネ	84名	平成12年4月1日

二. 法人本部の役割

理事長直属の機関として、両施設における①コンプライアンス(法令遵守)の徹底と②相互牽制と規則に基づく組織運営(コーポレートガバナンス)による不正行為発生防止機能や③危機管理機能、④情報公開機能を担うとともに、当会が民間事業者としての創意工夫や経営の効率性を発揮し⑤地域の付託に応え、良質なサービスを合理的な価格で、持続的かつ安定的に提供するために必要な利用者処遇向上の施策職員の人事運営施策を企画立案し、⑥両施設の運営を機動的に支援しました。

三. 役員会等の開催状況

1. 理事会評議員会の開催状況と主な審議事項

(1) 平成28年5月21日 署名人:寺田評議員,西坂評議員(以上評議員会) / 舟坂理事,辻本理事(以上理事会)

議案	①平成27年度 事業報告 ②平成27年度 決算・監事監査 ③苦情(利用者虐待の疑い)解決報告と対応体制の変更	議案	⑤老人保健施設ハイム・ゾンネの厚労省「職場定着支援助成金」(個別企業助成コース)を活用した特殊浴槽導入に伴う平成28年度予算の補正
	④老人保健施設ハイム・ゾンネの運営規程・利用約款・重要事項説明書の改定	報告	①社会福祉法改正への対応について ②大口寄付の報告

(2) 平成28年12月3日 署名人:衣畑評議員,竹内評議員(以上評議員会) / 福井理事,長尾理事(以上理事会)

議案	①社会福祉法人制度改革の施行に伴う定款変更 ②定款変更(第1号議案)に伴う理事の職務権限規程の制定 ③定款変更(第1号議案)に伴う評議員選任・解任委員会運営細則の制定	議案	計画」を活用した防犯対策の強化に係る整備実施等に伴う平成28年度の第一次補正 ⑥法人本部平成28年度予算第一次補正
	④老人保健施設ハイム・ゾンネの厚労省「平成28年度補正予算における地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金」を活用した防犯対策事業実施等に伴う平成28年度予算の第二次補正 ⑤障害者支援施設シャインの厚労省「大規模修繕及びスプリンクラー設備等整備	報告	①老人保健施設ハイム・ゾンネの物品調達(補助事業)に伴う条件付一般競争入札の実施 ②障害者支援施設シャインの工事施工に伴う条件付一般競争入札の実施 ③第27回ふれあい納涼祭 ～ 佐用のうまいもの市 開催報告 ④平成28年度ストレスチェック実施見送りについて

(3) 平成29年2月4日 署名人:八木理事,木下理事(以上理事会)

議案	①定款変更認可申請の過程において必要となった軽微な変更について ②定款変更前に当会が制定した諸規程の条文において、旧定款の番号で表記された条文明の、変更後定款のそれへの改正 ③評議員選任・解任委員会委員の報酬ならびに費用について	議案	議員候補について ⑥指定障害者福祉サービス事業者等に対する実地指導に基づく、契約書ならびに重要事項説明書および運営規程の改定について
	④評議員選任・解任委員会委員の選任 ⑤評議員選任・解任委員会に推薦する評	報告	①指定障害者福祉サービス事業者等に対する実地指導結果と改善策について ②今後の理事会、評議員会等の開催スケジュールと、想定される議案等について

(4) 平成29年3月18日 署名人:尾崎評議員,衣畑評議員(以上評議員会) / 舟坂理事,辻本理事(以上理事会)

議案	①定款変更認可申請の過程において必要となった軽微な変更について ②定款変更に伴う経理規程の改定 ③平成29年度介護報酬改定に伴う老人保健施設ハイム・ゾンネの運営規程、利用約款、重要事項説明書の改定について	議案	項説明書の改定について ⑤平成28年度補正予算 ⑥平成29年度事業計画 ⑦平成29年度収支予算
	④平成29年度障害福祉サービス等報酬改定に伴う障害者支援施設シャインの重要事	報告	⑧理事の選任合意、⑨監事の選任合意 ⑧ 理事長の重任 ①3月23日付で退任される評議員、4月1日付で新任される評議員

2. 監事監査 平成29年5月13日 実施予定

3. 経営企画会議の開催状況

〔開催日〕 4月26日,6月28日,7月26日,8月30日,9月27日,10月25日,11月22日,1月27日,2月21日,3月7日

〔参加者〕 大田理事長,木下理事,関・早川施設長,林事務長,辻本理事・財務人事部長

四. 重点課題への取り組み

1.	法人の課題への取り組み・・・ 経営判断に必要な情報収集と、企画執行	(1) 法改正や各種制度への対応 (2) 特殊浴槽調達や電話工事に伴う入札実施	社会福祉法改正に伴う諸規程の整備と組織改組、各種補助金・助成金に係る情報などの収集にあたり、計画どおり期限内に完了しました。 施設の事務負担を最小限に抑え、円滑に執行。透明性と公平性を担保しつつ、一流メーカー(OG技研,NTTDコモ)の商品を有利な条件で調達。															
2.	危機管理・・・ リスクの予測・評価と、機動的な施設支援	(1) 防災訓練の目標明示～即応能力の向上 (2) 苦情など対応体制の変更～初動重視 (3) 防犯と徘徊対策	たとえ指揮者が不在でも、発災直後の施設に残存する設備や機能を守り、長期化する避難生活を凌ぎ切るために必要な、救命活動の“その次に、やるべきこと”について、6月23日に両施設合同で訓練を行いました。 当会は、ライフラインが断絶したり、外部からの物資供給が途絶えても、利用者・職員が3日間過ごせる備えがあるものの、従来の訓練は、①救命作業・消火活動と、②非常備蓄食を用いた給食提供を眼目としていたため地震が頻発する時世を鑑み、実践的に改良しました。〔添付資料①〕 担当者の報告遅延や失念、不用意な発言などで、申立人の信頼を害し事態が急速に悪化することを予防する観点から、ハイム・ゾンネの苦情受付担当者を事務長へと5月21日に変更しました。 その後、サービス全般にわたり、誰彼構わず納得されるまで同じ質問を繰り返す家族が現れましたが、直ちに解決責任者が面談、受付担当者は県・町と密な連携を維持、鎮静化まで約5カ月間対応したという事案も発生。 利用者のADL(日常生活動作)能力の違いから、ハイム・ゾンネには窓や扉の開閉をモニターするセンサーシステム、シャインには監視カメラの存在による不法侵入抑止効果を期待して警戒システムを、3月導入しました。 近年、認知症の方が施設や自宅から外出し、徘徊中に死亡したり、電車を停めるなどした事件で、監督義務者(施設や家族)の予見義務や結果回避義務が厳しく問われており、当会でも予期せぬ外出対策に取り組んできたところ、7月の相模原障害者施設殺傷事件を機に、国の防犯対策に係る補助制度が創設されたため直ちに申請、交付決定を受け完工しました。															
3.	法人一体運営・・・ 法人単位の経営を担保する仕組み	(1) ガバナンス～法人統治 (2) 決済ライン (3) 基幹システム	三拠点(本部・施設)は、法定の「定款」、「経理規程」に加えて、独自の規程(委任権限規程、稟議規程、業務分掌規程)に基づき運営され、本部は常駐しているものの、緊急事態や本部事業等を除き、日常の施設運営に関与しない(できない)仕組みとすることで、三拠点の独立と相互牽制体制を維持し、不祥事を発生させない制度設計となっています。 なお資金と人事運営は、理事長と本部決済を要する基準を設けることで三拠点の一体運営体制と、多層監視体制を確保しています。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>本部</td> <td>ハイム・ゾンネ</td> <td>シャイン</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>起案総数</td> <td>107</td> <td>181</td> <td>158</td> <td>446</td> </tr> <tr> <td>うち理事長(%)</td> <td>13(12.1)</td> <td>47(26.0)</td> <td>52(32.9)</td> <td>112(25.1)</td> </tr> </table>		本部	ハイム・ゾンネ	シャイン	合計	起案総数	107	181	158	446	うち理事長(%)	13(12.1)	47(26.0)	52(32.9)	112(25.1)
	本部	ハイム・ゾンネ	シャイン	合計														
起案総数	107	181	158	446														
うち理事長(%)	13(12.1)	47(26.0)	52(32.9)	112(25.1)														
4.	経営戦略・・・ 当会を維持・発展させる仕掛け	(1) コンプライアンス(法令遵守)・・・企業倫理の確立と実践 (ア) 自主点検 (イ) 説明責任 (ウ) 自己評価(職員) (2) 財務体質強化・・・キャッシュフローを重視し、経営基盤強化に努めました。 (3) 人材育成・・・当会サービスの質的向上策 (ア) キャリアパス制度 (イ) 処遇改善 (ウ) 職員満足度アンケートと自己評価 (4) 設備の維持・更新 (5) 地域貢献・公益事業・・・地域の付託と期待に応える公益性の発揮 (ア) 独自減免 (イ) 清掃活動 (ウ) 実習生受入 (エ) X'mas保育園訪問 (オ) 消防団夜食差入 (カ) 納涼祭 ～ 佐用うまいもの市 (キ) シカ肉給食と、地産地消の推進	〔ハイム・ゾンネ〕 県介護サービス情報公開システムにて結果公表(2月3日) 〔シャイン〕 県第三者評価 評価シートを用い改善進捗を確認(3月31日) 〔ハイム・ゾンネ〕 家族懇談会に出席、経営状況・方針を説明(3月21日,24日) ホームページ上では要開示情報に加え入札情報、広報紙など随時公表 当会の理想の職員像、期待水準を示した「評価基準」に基づき、主任以下の職員に期末毎に自己評価を求め、自発的な改善を促しています。 法人全体の現預金残高は、118,233千円(前期比+29,788千円) 受験資格が変わり介護福祉士合格ゼロ。(平成22年施行、合格累計16名) 他施設との差別化、モラル(士気)向上を狙い、処遇改善手当の全額(月額27千円)支給、定昇・賞与(基本給×4カ月)を維持 上司を含む人間関係に悩みながら、「押しつけでない療養を提供しているか」と思い悩んでいる様子が浮かぶ。中間管理職育成が喫緊課題。 ハイム・ゾンネで特殊浴槽2セット、シャインで内線電話システム一式を更新。 復旧や現状回復を優先、長寿命化を図る予防保全工事立案には至らず。 他施設の有料費目を無料とし、約700万円/年を実質減免(両施設合算)。日常消耗品を廉価提供、ハイム・ゾンネは特養水準の自己負担で利用可。 「善意の日」に国道179号線(佐用坂～卯の峠)を清掃(平成19年～) 佐用高校より1名(シャイン) 龍野北高校より4名(両施設各2名)受入 南光3園、上月の園児150名に菓子、園に電化製品を贈呈(平成23年～) 南光支団の年末夜警団員67名に鹿猪肉料理を無償提供(平成24年～) 地元食材(鹿、地鶏、豚、そば、蒟蒻、米、味噌、醤油)を用いる模擬店を軸に25カ店で4,534食提供、1時間で完売。来場客約千名、ボランティア120名。 基幹産業の農業との連帯として「食べて減らそう、シカ被害」運動と、伝統的な和食(郷土料理)を柱とする地産地消給食に取り組みました。															